

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや ちくさ WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千464 千種区地下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 竹内真三

No.25 (1983~1984)

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を
Share Rotary —— Serve People

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

第69回例会 昭和58年12月20日(火)晴

◇“奉仕の理想”

◇出席報告

会員 52(51)名 出席 40名

出席率 78.43%

◇前回 12月14日(修正出席率) 98.04%

make up

橋本君(12/17守山), 原君(12/15東南), 加藤(保)君(12/15瑞穂), 水野(賀)君(12/17守山), 大谷君(12/13 Bangkok, タイ), 斉藤君(12/17守山), 鈴木(猛)君(12/9北), 手島君(12/12東), 都築君(12/17守山), 矢野君(12/13名東)

◇ビジター紹介 2名

◇誕生日祝福

堀場君(12/22)

◇ニコボックス

親睦活動委員会一同(年末家族懇親会を無事終了させて頂きました), 鈴木(正)君(年末家族懇親会に家族多勢で出席させて頂き大変お世話になりました。会長始め委員皆様のお骨折りに対し心から感謝申し上げます), 久保田君(ホームクラブ無断欠席して申しわけありません), 西川君(年末家族懇親会は大変楽しく過ごさせて頂きましてありがとうございます)

◇バナー披露

Bangkok RC, Bangkok・タイ(大谷君)

◇三輪幹事報告

1. 次回例会終了後, 理事会を行いますので理事役員の方は2F橋の間にお集り下さい。
2. IGFの御返事をまだ提出していない方は必ず事務局までお出し下さい。

◇新美親睦活動委員長報告

先日(12/17)の年末家族懇親会に多数ご参加頂きましてありがとうございました。おかげさまで盛大に無事終了できました。又会場の雰囲気を華やかに彩りなした鶴飼君よりの水の彫刻, 大勢の会員よりの企業賞のプレゼント, 永井

君の記念撮影など皆様の御協力を厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

◇竹内会長挨拶

先々週の卓話において国際的な法律実務に携わる弁護士として深見君が「契約意識の欧米と日本との根本的な差異」について御意見を述べられました。その中で日本のビジネス社会では契約締結というものは『よき人間関係を築いていくための一つの儀式』と考えられているのに対して, 相手が欧米人の場合には『文書により明文化された約束だけに拘束される』という確固たる信念があるため, 日本では契約の内容をややもすると軽視し, 欧米では契約の内容に固執するとの差異が生ずるのだと申されました。又判り易く申せば『我が国では契約とは結婚届のように考え, 暖かく少しでも結婚の実を挙げようと努める, それに反し欧米での契約は離婚届のようなもので実々として少しでも権利を主張できるような形式にする』と, スピーチを受けました。

私大変に興味をもって拝聴しましたし, 又, ここ暫くの間, 内心に蝕っておった疑問が解けて参りました。

それは『医療紛争の問題』に関してであります。御承知のように医師と患者とを廻る紛争はこの10数年前頃から激増して参りました。

日本医師会の調査では全紛争の40%は産婦人科関係であり, 30%は外科関係, 20%が内科系, 10%がその他となっております。その争点の殆んどは『契約義務不履行』となっております。つまり『初診』という契約をした段階から医師にはちゃんと治療して快復させる義務が生ずる…というわけでありました。それが納得のいく結末が出ぬ場合には, 最初の契約『初診』の義務不履行である…というわけで訴訟となります。永い間, 日本の医者にはこうした考え方はありませんでした。勿論誰がみても誤りであったとか, 失敗というのは論外ですが, 医療では『及ばずながら精一

杯尽す』ところに医師の本分があるように躰しづられて参りました。そこで『赤ひげ先生』こそが医師の鏡のごとくに称讃される環境にあった訳です。

ところが、最近はこの美風良俗と考えられていた環境が変って参りました。特に有資格者の半数を占める開業医の間では「君子は危うきに近寄らず」で、少しでもリスクを感じたら、あるいは治療上厄介になりそうだと思えば、直ちにしかるべき医療機関へ患者を転送して触れようとしません。下手に仏心を出し生半可なことをして結局紛争になっている例が随分とあります。

そこから結局『不安と危険のある患者』を避ける医療、即ち萎縮診療となります。患者にしてみれば“不安と恐れがあればこそ”医者に診て貰おうとするのですから、逆に極端な言い方をすれば診て貰える患者は大した患者ではない、とも言えます。

深見君の言う「日本人の契約意識」では従来の日本の医者は『初診』があってから全力をつくす、患者の期待に精一杯報いようと努力する、その上での結果の良し悪しは医者・患者の信頼関係で解決するというのが常道でしたが、今や西洋流に「結婚の時には離婚の時を慮る」のごとく「初診時には常に不幸の帰結から法律上身を守る」という医療を心懸ける傾向が強くなって参りました。

動機が“善意であれば結果は問わない”という東洋的発想も、今や“結果が悪ければ動機が善意であれ問責する”時代になってきました。深見君の話しを伺って『契約』に対する考え方が洋の東西で、又、民族の気質によって取り組み方に根本的に相異があることを明瞭に解説して頂いて成程と納得した次第です。

◇ 講演

“卒業アルバムの製作について”

会員 永井 正義 君



高等学校の卒業アルバム製作の進行は、新学学期の4月に3年生担任先生の内より卒業アルバムの係と、各クラスから生徒さんのアルバム委員が決まりますと、アルバム委員会を開き内容を決め、写真撮影の日程を取り決めます。アルバム写真の内容は校舎、校歌、校長先生、職員および生徒さんの個人写真かグループ写真、クラブ活動、修学旅行、学校祭、以上は必ず卒業アルバムにのせます。なお高校3年間の思い出のスナップ写真、3年生全員の写真、クラスの

写真、アルバム委員が自分のクラスのスナップ写真を1頁自由に編集します頁等を入れる学校もあります。3月の卒業式は幼稚園から大学まで集中します中で、高等学校の卒業式が一番早く、私立高等学校の一部では2月に卒業式を行なう学校もあります。ですから印刷所では高等学校の卒業アルバムの原稿を急ぎますし、必切を早めます。撮影は最初に生徒さんを、正服(冬服)で6月の衣替えまでに、氏名を入れる、個人かグループの写真の撮影を済ませます。先生の写真は全体写真、個人写真、教科別写真のどれかをのせます。6月に入りますと、クラブ活動の撮影です。梅雨どきなので運動クラブなどは余分な日数がかかります。それに中間試験、期末試験がありますから大変です。夏休みまでに次々と撮影済の写真を集めて原稿を印刷所に送ります。秋になりますと小学校、中学校、各種学校の撮影もします。その間に高等学校の学校祭の撮影があります。卒業アルバムに入れます住所録と学校祭の原稿が印刷所に行きまして、印刷の校正が済みますと印刷され、そして製本されまして卒業記念アルバムが出来上ります。卒業式の1週間前より納品いたします。これで約1年間の作業が終了します。卒業記念アルバムの内容は昔とそんなに変わらず、印刷技術だけが進歩しています。

《 ローターリー・クラブがあなたのために何《
《 をできるか期待しない 《

出席はクラブ奉仕の基礎を成すものであり、すべてのロータリアンが、ロータリアンの理想と目標への信念を確認する、週に一度の機会である。

出席はクラブ会員個々の責任であるが、欠席はクラブ全体の問題である。ロータリアン・クラブは、「体を動かし、運動」し、いつも強健でなければならない。より一層の親睦と奉仕、そしてより興味深い講演をする人…これらは出席を改善し、クラブの健康を保つ方法のほんの数例である。

今クラブ奉仕に携わることにより、後日クラブの活動低下を嘆かなくてすむに違いない。(情報抄録より)

◇ 次回例会 (12月27日)

年末例会の為、講演はございません。

◇ 次々回例会 (1月10日)

講演 “社会部は何を見るか”

朝日新聞 社会部長 谷 久光氏

(紹介者 秋山君)

講演 “尾張漫才”

北川氏、他2名 (紹介者 竹内君)

※来年1月3日は例会はございませんので留意下さい。